

人物試験対策講座 講義編

人物試験（人事院面接）は個別面接で、時間も 15～20 分程度と短く、事前に提出した面接カードに従って、質問される形式なので、筆記試験に比べると相当軽視される傾向がある。しかし、配点は想像以上に高く、さらに、院卒区分および教養区分受験者の場合、面接は政策課題討議試験の直後に実施されるため、体力・精神的に疲弊した状態で迎えることになり、集中力の持続が課題となる。人物試験に苦手意識を持ってしまうと、最終関門である官庁訪問突破もおぼつかないことから、入念な準備が必要である。

第 1 節：人事院面接の概要

✧ 主旨・概要

人柄、对人的能力などについての個別面接（15～20 分程度で、受験者 1：面接官：3）。事前に提出した面接カードに従って、質問される。

配点：

教養区分 6 / 28（1 次試験の基礎能力試験（ⅠⅡ）合計よりも比重が高い！）

それ以外 3 / 15（1 次試験の基礎能力試験よりも高く、専門択一試験と配点比重が同じ）

（注）2026 年度試験より、配点が変更される。

教養区分：4 / 24（春試験・秋試験共通）

それ以外：2025 年 8 月現在、未公表（変化なしの可能性が高い）

- ・面接日時について、教養および院卒区分の場合、例年、同じ日に実施される「政策課題討議」の直後に行われる。
- ・その他区分は例年、二次試験（筆記試験）時に通知される（院卒区分は別途通知）。

教養区分・院卒区分受験者へ

…政策課題討議試験よりも配点が高い！（2026 年度試験より、教養区分については人物試験・政策課題討議試験は同じ配点となる）しかも、面接は政策課題討議試験の直後に実施されるため、体力・精神的に疲弊した状態で迎えることになるので、集中力の持続が必要。